

木更津市中心市街地活性化協議会第1回総会
会議録

日 時：平成30年8月29日(水) 14:00～16:00

場 所：中央公民館 第7会議室

出席者：

委員（敬称略）

団体名	役 職	氏 名	備考
木更津商工会議所	会頭	鈴木 克己	
木更津商工会議所	専務理事	永野 昭	
木更津市富士見通り商店街振興組合	理事長	吉田 弘	
木更津東部商店街振興組合	副理事長	奈良本 浩規	代理出席
木更津一番街商店街振興組合	理事長	國吉 俊夫	
南町区睦会	会長	高木 厚行	
大和町親交会	会長	山田 恒夫	
東日本旅客鉄道株式会社	木更津駅長	山口 一男	
日東交通株式会社	専務取締役	代田 憲隆	代理出席
小湊鐵道株式会社	取締役社長	石川 晋平	
千葉県タクシー協会 南房支部支部長	かずさ交通株式会社 代表取締役社長	奥瀬 亮彦	
木更津市観光協会	会長	野口 義信	
イオンモール木更津	ゼネラルマネージャー	古川 明	
木更津金融懇談会 幹事	千葉銀行木更津支店長	中嶋 敏彰	
かずさ青年会議所	理事長	鈴木 崇史	
日本大学	教授	北野 幸樹	
木更津市	副市長	田中 幸子	
木更津市	企画部長	山口 芳一	
木更津市	経済部長	栗原 由和	
木更津市	都市整備部長	渡部 史朗	

事務局

企画部次長 石井 宏典

企画部参事兼地域政策課長 栗田 伸一

企画部地域政策課 地域政策担当総括 鶴岡 佳代

企画部地域政策課 地域政策担当 主事 松田 紗希

- 議題：(1) 木更津市中心市街地活性化協議会規約（案）について〔公開〕
(2) 木更津市中心市街地活性化協議会役員を選任について〔公開〕
(3) 平成30年度中心市街地活性化協議会収支予算（案）について〔公開〕
(4) 木更津市中心市街地活性化基本計画策定方針について〔公開〕
意見交換〔公開〕

傍聴人：3名

配布資料：

- 木更津市中心市街地活性化協議会第1回総会 会議次第
- 木更津市中心市街地活性化協議会委員名簿
- 木更津市中心市街地活性化協議会第1回総会出席者名簿
- 木更津市中心市街地活性化協議会第1回総会席次表
- 議案第1号 木更津市中心市街地活性化協議会 規約（案）
- 議案第3号 平成30年度中心市街地活性化協議会収支予算（案）
- 議案第4号 木更津市中心市街地活性化基本計画策定方針（素案）

1. 開 会

2. 市長あいさつ

渡辺市長よりあいさつ

3. 委員紹介

事務局より名簿順に委員を紹介し、各委員から自己紹介があった。

4. 議長選出

事務局

協議会の設立及び会長の選任までの議長として、木更津市副市長の田中委員に議事進行をお願いすることで良いか。

委員

(異議なし)

事務局

それでは、田中委員に議事進行をお願いする。

5. 議 事

(1) 木更津市中心市街地活性化協議会規約（案）について

議長

事務局から、議案第1号 木更津市中心市街地活性化協議会規約（案）について、説明をお願いする。

事務局

資料に基づき説明。

議長

確認事項があれば、ご発言をお願いします。

高木委員

「中心市街地」とは、どこを指すのか。

事務局

中心市街地の定義については、本協議会の中で議論する。現時点で考えている範囲については議案（4）で説明する。

國吉委員

協議会で決めた内容は、議会を通すのか。

事務局

計画については、パブリックコメントを実施する予定である。市議会議員への説明は行うが、議決をいただくというものではない。

議長

本件について承諾いただけるか。

委員

（異議なし）

議長

それでは、規約については、原案の通り決定する。

(2) 木更津市中心市街地活性化協議会役員の選任について

議長

協議会会長の選任について、木更津市中心市街地活性化協議会規約第7条第2項に基づき、会長を互選により選出することとなっているが、いかがか。

永野委員

日本大学教授の北野先生にお願いしたい。

議長

只今、会長には北野委員にという提案があったが、いかがか。

委員

（異議なし）

議長

北野委員、お引き受けいただけますか。

北野委員

はい。承知しました。

議長

それでは、会長には北野委員を選任することとする。

なお、副会長及び監事は、規約第7条第3項により、北野会長に指名していただく。

会長

(あいさつ)

副会長に木更津商工会議所会頭の鈴木委員、監事に観光協会会長の野口委員、かずさ青年会議所理事長の鈴木委員を指名したい。

本件について、承認いただけるか。

委員

(異議なし)

会長

それでは、3名の方、よろしく申し上げます。

(3) 平成 30 年度中心市街地活性化協議会収支予算（案）について

会長

事務局から、議案第 3 号 平成 30 年度中心市街地活性化協議会収支予算（案）について、説明をお願いする。

事務局

資料に基づき説明。

会長

本説明について、質問等があれば、ご発言をお願いする。

委員

(発言なし)

会長

それでは、収支予算については、原案の通り決定する。

(4) 木更津市中心市街地活性化基本計画策定方針について

会長

事務局から、議案第 4 号 木更津市中心市街地活性化基本計画策定方針（素案）について、説明をお願いする。

事務局

資料に基づき説明。

会長

本説明について、質問・意見等があれば、ご発言をお願いする。

國吉委員

都市計画道路の整備が重要である。都市計画道路を、ある程度造り上げていく必要があるのではないか。この協議会では、都市計画道路については議論しないのか。それとも、意見としては言うて良いのか。

渡部委員

本計画は 5 年間という計画期間であるため、その中で整備可能か否かの問題はあるが、本協議会でも、中心市街地における都市計画道路の必要性については議論しても良いと考

えている。

野口委員

「今回検討区域」に港（内港）が入っていないようだが、市で進めようとしている港の開発構想との整合性はどうなっているのか。

事務局

「今回検討区域」は、基本となるエリアについて、提示させていただいた。

現在、内港については、「パークベイプロジェクト」として検討しているところである。中心市街地活性化計画の実施年次が平成 32 年から 36 年までの 5 年間であり、その期間で港の方が具体的に実施できる場合は、本計画の対象範囲に含めることを検討したい。

会長

本件について、承認いただけるか。

委員

（異議なし）

6. 意見交換

議事終了のため会長が議長の任を終え、事務局の司会により、名簿順に各委員から中心市街地活性化に関する意見が述べられた。

鈴木克己委員

長い期間、商工会議所として中心市街地活性化に取り組んできたが、現状はご覧のとおりである。こうした問題は木更津市だけではなく、全国的な傾向である。

今回、改めて中心市街地活性化の問題に取り組もうとする試みに対して、楽しみにしている。

今は、中心市街地活性化の必要性が理解されてきていると感じている。持続可能性、コンパクト化、オーガニックシティの観点が、市民に理解されているのではないかと感じている。

活性化していく上で大切なことは、市へ来訪する目的が必要である。パークベイプロジェクトが進行しようとしており、市庁舎が駅周辺に立地すれば 2 つの核を持つことができる。恵まれた条件の中で活性化計画をやっていくことになる。

本計画は 5 年間ということだが、50 年計画ぐらいの長いスパンで考えないといけない。

市が責任をもって実行することが必要である。市が行うことよって、市民がついて来る。

永野委員

「中心市街地活性化」という言葉に対するイメージを、統一的に持てるようにしたい。

今までの中心市街地活性化は、商店街の活性化などのイメージが強いと思うが、まちづくりの要素は多岐にわたる。まちづくりを行うにあたり、高齢化社会、人口減少の環境の中で、中心市街地がまちの一部であることを念頭において、市民も含めて統一していかなければならない。

持続可能なまちづくりを考える上で、歩いて暮らせるまちづくり、駅を含めた公共交通機関を活用したコンパクトなまちづくりを進めていくことは、正しい方向だと考えている。

重要なこととして、公共公益施設の集約を市が掲げていくことにより、民間事業者が参入するきっかけになると考えられる。

アンケートでは、木更津市のまちづくりとして、中心市街地が必要だということを位置付けられるようなものとして欲しい。未来に希望が持てる、市民が誇りと愛着を感じられるよう配慮されたい。

縮小されるまちの中で、財政の観点から、行政コストを削減すること、地価を下げないことを目標にすることを市民に説明する必要があると考える。

吉田委員

経済環境の変化のスピードが速くなっている。街区整理による居住空間、住環境の整備が有効と考えている。街区計画などを、学生などから提案されることを期待している。

奈良本代理委員

本計画の期間は 5 年であるため、駅舎の更新やモニュメントを建てるなど、目に見える成果を期待したい。

國吉委員

まちで快適に暮らしていきたいとの視点で考えた場合、東口は、夜は飲食店が増えたことにより元気になってきている。

一方、まちの清潔感が減退している。美的感覚もまちづくりに必要ではないかと考える。地域団体や商店会に加入しないチェーン店が増えており、ゴミ問題が見受けられる。美しいまちであることをまちづくりの観点から入れていただきたい。開業する商店が商店会、地域団体に加入することを義務付ける条例などを提案してもらいたい。

高木委員

駅前には、市役所と中央公民館が移転したことにより、人通りが増えたと感じる。人が集まれば、活性化になる。中心市街地には神社や寺院が多くあるため、来訪の目的地に利用することを検討されたい。また、駅にも期待したい。

山田委員

駅前が元気になったと言われているが、町が汚れていると感じる。新規店舗が商店会に入ってくれず、町の催しに参加や寄附をしてくれない現状がある。また、役員が少ないことも問題である。

山口委員

木更津駅（職員）としては、駅舎の建替えを会社に要望している。木更津駅は昭和 45 年の建造で、山手線 70km 圏内で最も古い駅舎である。

駅の周辺にたくさんの方が居住する必要がある。電車やバス、タクシーもあるという選択肢の提供が有効である。

線路以外の鉄道用地が多くあるため、まちづくりにも活用できると考えている。社内のコンセンサスを得ることことに協力することが私のミッションであると考えている。

代田代理委員

木更津駅西口と港が直線につながっているロケーションが魅力的である。近くには神社等があり、資源等を活用した、港を含めたまちづくりをしていければ良いと考えている。

また、自家用車からバスへの転換など、環境に配慮した交通体系や事故の削減に貢献できると考えている。

他県からの誘客を図りたい。

石川委員

木更津市の会議に出席したのは初めてである。

弊社は、木更津市内ではバス事業を行っている。房総中部エリアのバスでは、一番活気があるのは木更津市である。

まちづくりにおいて考慮すべきポイントとして、未来へ向けてどのように考えるかという「時代性」、エリアの面白みや魅力である「地域性」、の 2 点が重要であると考えている。

日本は人口減少社会に突入したが、世界的には人口増加が問題視されており、サステイナブルが今後の課題である。オーガニックシティを掲げる木更津市においては、環境面も表現することが必要である。

若者の力を生かすことも重要で、木更津総合高校など、高校生などの参加が有効であると考えている。

奥瀬委員

南房総のタクシー会社の半数が木更津市に車庫を有している。

アクアラインの開通から 20 年経ち、その成果が実り始めており、木更津市は活気があり、県内でも有数の豊かな素材と感じている。

一方、郊外エリアに店舗が建ち並び活性化していることに対して、中心市街地が衰退してきている。本計画の 5 年間に限らず、その後の 10 年を見据えた計画を推進することが重要である。その中で、公共交通がやるべきこともある。

野口委員

中心市街地の活性化は、木更津に限らず全国どこでも同様の課題である。これは、交通手段が車へ変化したことや、郊外の大規模店舗の誘致などが原因である。

マンションなどの建設が進行すると、自然と活性化してくるかと思う。もう少し人が集まる市街地になってほしいと感じる。買い物や医療、公共交通などの日常生活において、特に高齢になると中心市街地は住みやすいと感じる。広々とした郊外の環境は、子供のいる家庭には満足感が高いと感じるため、住まいの交換というものも課題のひとつかと思う。

来訪者が増えるためには、住んでいる人が満足していなければならない。

来訪者には、それぞれのニーズ応じて、ルートやプランを立てることが重要と考える。駅から近いところに観光窓口、観光資源や文化を体験できる施設を設置したいと考えている。伝統的なことを活かすことも重要だ。

古川委員

中心市街地活性化については、どの市町村も 5 年間では成果が出にくい現状がある。市民に実感を持たせるため、5 年間で何かしらの成果を上げられるよう努力すべきである。そのことにより、応援してくれる市民が増える。

また、たばこの影響でまちが汚いと感じるため、きれいな街並みにしていく必要がある。木更津市は歴史のある街で面白みがある。もっとアピールしたら良いと思う。

中嶋委員

銀行の事業審査は、各行の風土があるものの、事業化のハードルは以前に比べて下がっており、計画を評価するようになっている。

各金融機関がフォーカスするポイントが異なるため、相談してもらいたい。

木更津地域の経済的なポテンシャルは高いと思っている。土地の価格変化には、必ず理由があるため、木更津における実態を明らかにすべきである。

鈴木崇史委員

交通結節点には、必ず立ち寄るものである。そこに、子育て支援施設があれば、買い物もして帰るようになる。

文化に触れる機会が少なく、また、中心市街地の人口が少なくなっているため、その継承が課題と考えている。住んでいるのは郊外部でも、中心部の行事に小さい頃から触れる機会があれば良いと思う。

北野委員

皆様のご意見をキーワードとして整理させていただき、抱負とさせていただく。

1 つ目に、「拠点づくり」ということと、「きれいなまち」というキーワードが出てきた。

2 つ目に、協働をしながら、地域主体で何かに取り組むことが求められているかと思う。

3 つ目に、ランドマーク、目に見える成果を求める。分かりやすく何かに取り組むデザインが必要である。

4 つ目に、それを絵として美しく描く、目的を皆で共有することが重要である。

5 つ目に、ノーマライゼーション、バリアフリーの姿勢が、誰のために、誰が、何のためにするのか、という姿勢が重要である。

6 つ目に、魅力を形作る姿勢、港や歴史的資産があるため、それらを歩くことで発見し、大切に作る姿勢が重要である。

7 つ目に、もう一度光をあて、大事なことを見直していく姿勢、地域性を大事にしていくなりがある。

最後に、イメージを共有していく姿勢、目的が明確であれば、どこにフォーカスするのかイメージをお互いに共有することができるのではないのか。イメージを共有していくためには、常に一歩先へイベーションしていく姿勢が大事ではないか考える。

上半分のキーワードは何かをデザインする、何かをつくるキーワード。下半分のキーワードは、これを実行するための姿勢を示すキーワードとして整理できるのではないかと感じた。

これらのキーワードの中で、中心市街地のあり方を展開できれば良いのではないのか。

これらのキーワードを並べると、「きさらづのみらい」が見えてくるのではないかと思う。

※ホワイトボード

き	拠点づくり きれいなまち デザイン	何かをデザイン つくる
さ	参加のデザイン 地域主体で	
ら	ランドマークづくり 目に見える成果を	

づ	図に美しく描く 目的を皆で共有	
の	ノーマライゼーション バリアフリー姿勢 誰のために・誰が	姿勢
み	魅力をかたちづくる姿勢 港・歴史的資産 “歩く”	
ら	ライトアップに大切なコト・モノに目を向ける姿勢 地域性	
い	イメージを共有する姿勢 イノベーションへ	

田中委員

2020年以降に始まる木更津市の人口減少、高齢化の進行を踏まえ、市民の暮らしやすいまちを目指して、都市機能をコンパクトに集約したまちづくりを推進したい。公共交通の接点となる中心市街地再生に取り組み。質の高い環境整備を目指したい。

また、港に近いことが中心市街地の大きなポイントである。

市では、市民、民間事業者の事業を推進していかなければ、中心市街地の発展は難しいと考えている。

7. その他

事務局

次回の総会は、10月下旬を予定している。

8. 閉会

以上